

定例公安委員会の開催状況について

令和4年9月1日（木）に、第24回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 “明るいやまがた、夏の安全県民運動の実施状況について

本年7月22日（金）から8月21日（日）まで実施された“明るいやまがた、夏の安全県民運動の各種取扱状況等について報告があった。

委員のコメント

- 山岳遭難、水難事故の発生状況を見ると取組に一定の成果が認められる。水難事故の発生をゼロに抑えたのは広報啓発の努力と評価する。
- 一方で、飲酒した少年の補導が増えているのは気掛かりである。酒類販売時の年齢確認を販売者側に徹底させるなど対策を強化してほしい。
- 課題はいくつかあるが、総じて良好に推移した運動期間であった。

2 令和4年上半期における薬物事犯の検挙状況等について

令和4年上半期における薬物事犯の検挙状況等について報告があった。

委員のコメント

- 大麻事犯は山形県内においても増えてきている。入手方法としてSNSを利用して購入されている事例もあることから、サイバーパトロールを含め多岐にわたり注意を払ってほしい。
- 薬物の中でも特に大麻は若者が軽い気持ちで使用している例が多い。薬物依存症になるおそれは大麻も同じであり、使用する本人だけでなく周囲の人間も不幸にすることを強く啓発してほしい。
- 薬物は人の健康に有害である。若年層に響く広報啓発を実施してほしい。